

Adobe Photoshop

画像不正と疑われないための画像処理

得られた原画像を客観的・定量的に評価するためには、画像処理を活用することは必須です。しかし適切な画像処理を行わないと、正確な研究結果が得られないばかりか、画像不正と疑われてしまう可能性もあります。本セミナーでは、自身が研究者であり画像処理のエキスパートである講師を迎えて、研究画像を処理するうえでぜひ知っておきたい知識と手法を、Adobe Photoshop CCを使ったデモを交えながらお伝えしていきます。アドビシステムズ協力のもと開催となります。ぜひご参加ください。

【日時】平成27年8月27日（木）17時～18時

【場所】岡山大学医学部 基礎講義棟 3階 講義室

【講師】湖城 恵（エルピクセル株式会社 技術アドバイザー）

【内容】■ 画像の基礎と基本操作

解像度とは？／画像を適切な大きさにする／スケールバーの作成

■ Photoshopを積極的に活用する理由

鮮明化：原画像の客観的・定量的評価／レイヤー：原画像の保持／
強調：画像不正と疑われない適切な配置や回転

■ 画像処理・解析手法の見える化

撮像条件および施した全ての画像処理の履歴を記録

■ 質疑応答

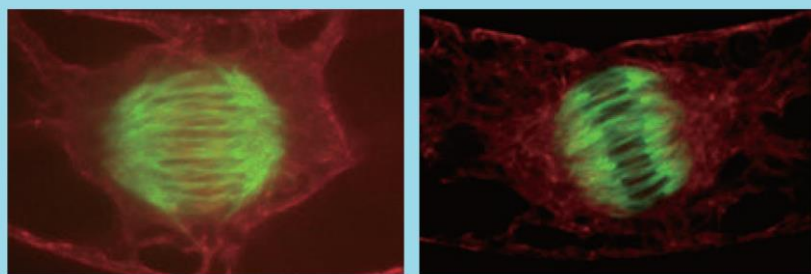
【対象】教職員・学生及び興味のある方

【定員】当日先着180名

今回は、事前登録の必要ありません

論文での画像比較例

下記は画像不正の疑いがあります。誤った画像処理を行ったために問題のある掲載になっています。セミナーではどうすれば正しい処理が行えたのか詳しくご紹介します。



Kojo et al. PSB (2014)



セミナー講師

エルピクセル株式会社
技術アドバイザー

湖城 恵氏

東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程修了。博士(生命科学)。学部から一貫してライブイメージング研究に従事。博士課程からは画像処理技術の開発にも着手。主な研究対象である植物培養細胞に加え、共同研究では陸上植物やショウジョウバエ等の画像処理を担当。研究の質と顕微鏡画像の美しさが評価され、複数の発表論文が国際誌の表紙を飾る。現在、東京大学特任研究員。エルピクセル株式会社・研究開発本部の技術アドバイザーを兼任。画像不正問題を受け、画像不正の検出をサポートする「LP-exam」の開発に従事。LP-examはエルピクセル社Webページにて無料で公開中。



世話人：分子医化学 大橋俊孝 内線 7127 メール oohashi@cc.okayama-u.ac.jp

本件担当：共同実験室 岡本浩志 内線 7472 メール kyo2@md.okayama-u.ac.jp

当セミナーに関するお問い合わせ

・アドビシステムズ株式会社 デジタルメディア統括営業本部

吉崎 誠多 メール：yoshizak@adobe.com

注意：

大学院医歯薬学総合研究科の
単位認定にはなりません